

令和6年7月19日

各位

唐津農林事務所東松浦農業振興センター長

稲作情報第2号(普通期水稻)

1. 気象概要(アメダス:唐津地点)

月	半旬	平均気温 (°C)		最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6
5	1	17.4	17.8	22.4	21.9	12.8	14.1	20.1	4.5	35.5	32.5
	2	18.1	17.1	23.1	22.2	13.6	13.4	24.4	11.0	35.0	20.4
	3	18.8	18.5	23.7	23.5	14.3	13.4	26.1	37.5	35.1	40.3
	4	19.4	19.3	24.3	26.4	15.0	12.9	22.2	0.5	35.5	59.0
	5	19.9	20.2	24.8	25.4	15.7	17.0	17.8	0.0	34.0	28.2
	6	20.4	19.7	25.0	25.2	16.5	14.9	18.5	87.5	37.1	30.3
6	1	20.9	19.4	25.2	24.8	17.3	15.5	18.2	0.0	27.3	47.5
	2	21.4	21.5	25.4	26.6	18.2	18.4	27.2	20.0	24.5	21.7
	3	21.9	24.1	25.7	30.1	19.0	20.0	40.5	0.0	22.3	47.5
	4	22.4	22.9	26.1	28.6	19.6	19.1	54.5	102.0	20.6	27.5
	5	23.0	24.3	26.6	27.3	20.4	21.6	65.1	39.0	17.8	8.3
	6	23.9	23.8	27.3	26.2	21.3	21.9	73.6	74.5	14.8	0.5
7	1	24.7	27.8	28.0	31.1	22.2	25.4	87.3	93.5	15.2	28.3
	2	25.3	29.3	28.7	32.7	22.8	26.8	92.9	7.0	19.9	39.4

梅雨入りは6月17日で、しばらく曇天が続いたが、7月に入ってから好天が続き、平年と比べて、気温は高く、降水量は少なく、日照時間は長く推移している。

2. 生育状況(調査日:7月11日)

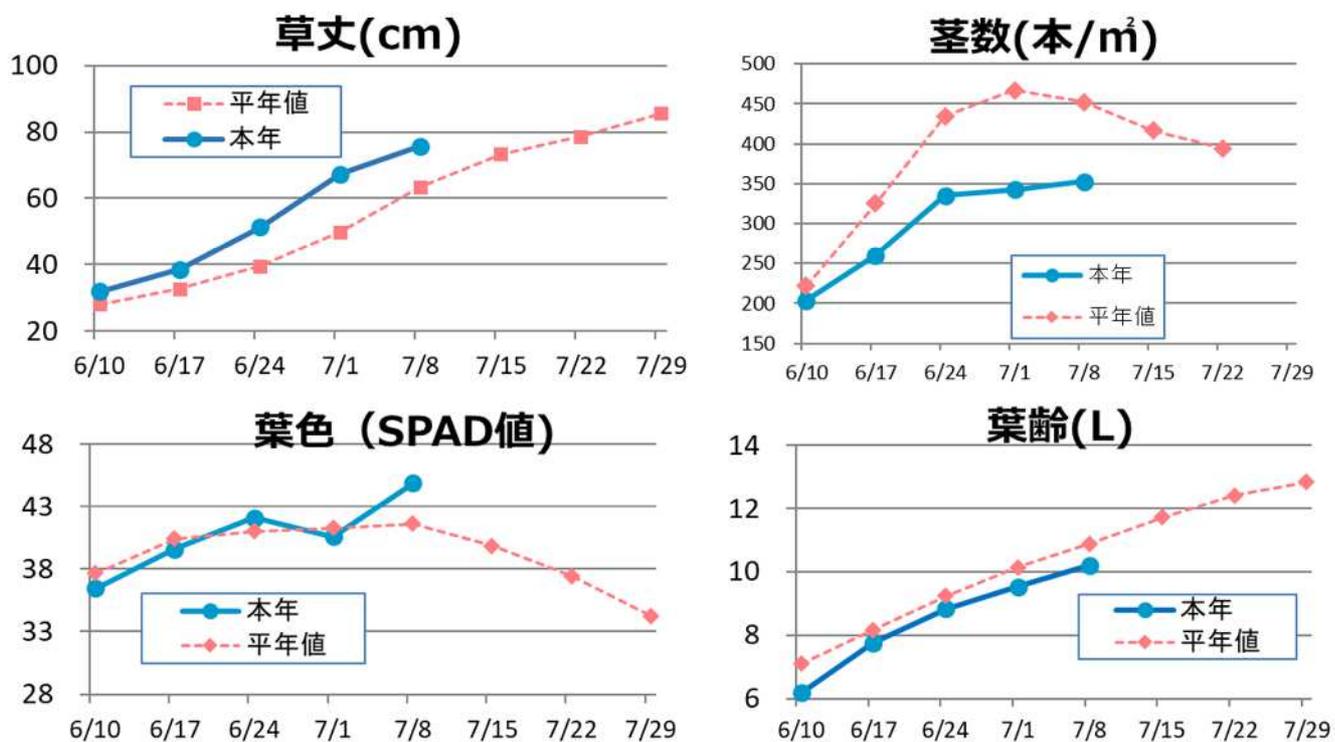
項目 品種 (設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数 L	葉色 SPAD	概要
コシヒカリ 唐津市巖木 町天川 5/14移植 標高650m	本年値	75.7	353	10.2	44.9	平年と比べて ・草丈は高い ・茎数は少ない ・出葉はやや薄い ・葉色は濃い
	平年値	63.5	452	10.9	41.6	
	平年比	119	78	-0.7	+3.3	

項目 品種 (設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数 L	葉色 SPAD	概要
夢しずく 唐津市相知 町伊岐佐 6/12 移植 標高 70m	本年値	44.6	190	8.6	39.5	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年より高い ・茎数は少ない ・出葉は平年より早い ・葉色は平年並み
	平年値	39.8	222	7.6	39.5	
	平年比	112	85	+1.0	0	
項目 品種 (設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主幹 出葉数 L	葉色 SPAD	概要
さがびより 唐津市相知 町相知 6/21 移植	本年値	27.5	145	7.1	36.9	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年より低い ・茎数は平年より少ない ・出葉は平年より遅い ・葉色は平年より薄い
	平年値	35.7	260	8.4	43.0	
	平年比	77	56	-1.3	-6.1	

(1) 山間早植え

作況ほの「コシヒカリ」は、5月14日に移植された。6月5～6半旬にかけて曇天が続いたため、徒長気味となり、草丈が高く、茎数も少ない。これまでのところいもち病やウンカなどの病害虫は発生していない。作況ほでは7月9日に幼穂長3mmを確認している。

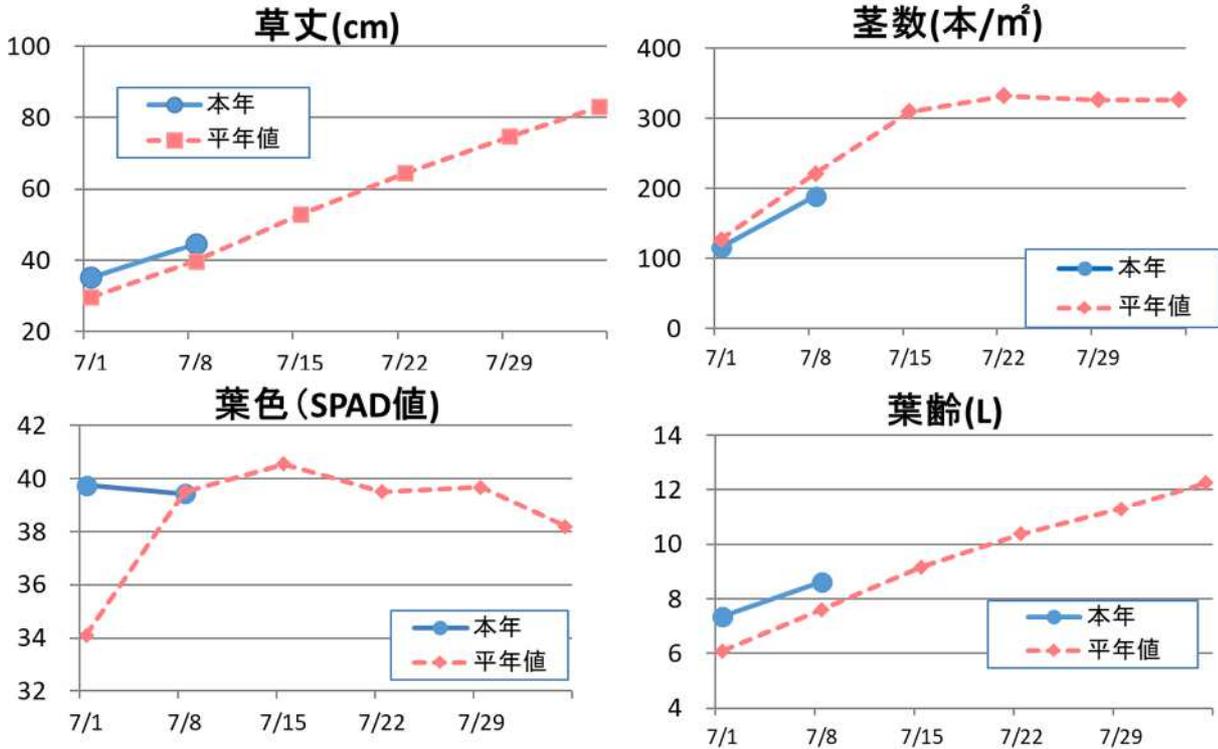
◎コシヒカリ作況圖の生育グラフ(厳木町天川)



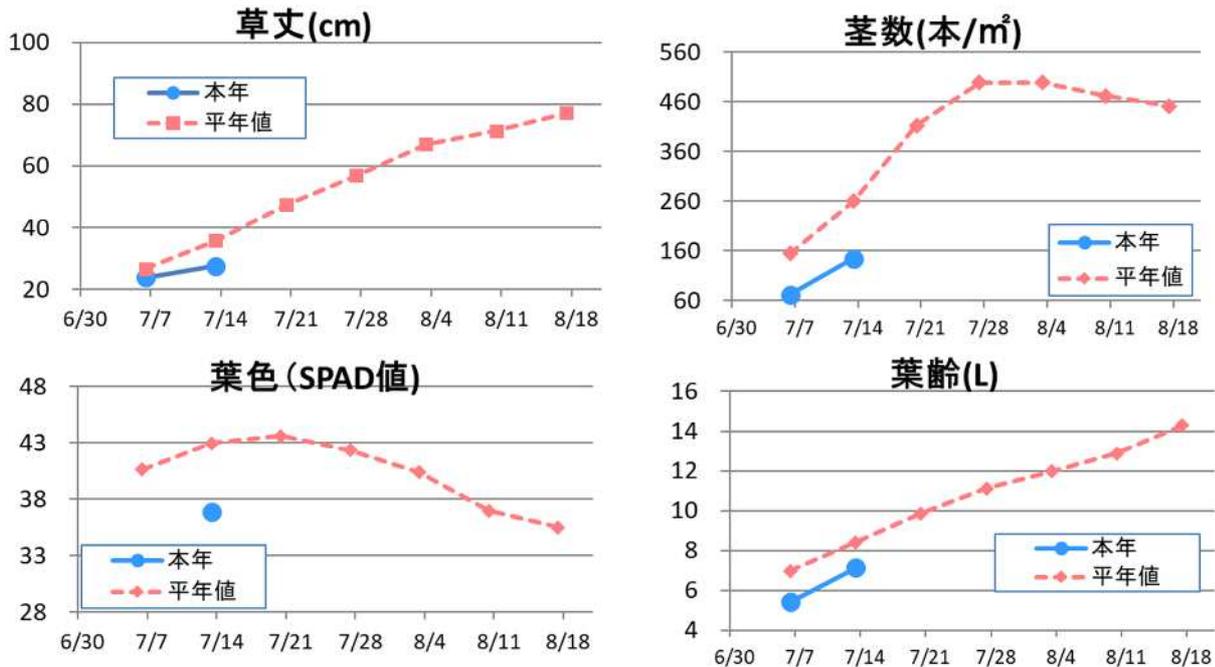
(2) 普通期水稻

夢しずくは移植後の好天により生育は進んだが、6月5～6半旬の長雨で茎数は少なくなっているさがびよりについては、移植期にあたる6月5～6半旬の長雨で日照不足となり初期成育が抑えられ、茎数が少なく、出葉速度も遅くなった。

◎夢しずく作況圃の生育グラフ(相知町伊岐佐)



◎さがびより作況圃の生育グラフ(相知町相知)



3. 今後の管理

(1) 早期・山間早植え

①栽培管理

- ・コシヒカリについて、4月に移植された早期の圃場では出穂期から穂揃い期となっている。また、5月に移植された圃場では最高分けつ期～幼穂形成期となっているため生育ステージに応じた管理を行う。
- ・中干しは、有効茎数が20本/株程度確保出来たら実施する。(草丈目安概ね50cm) その後は間断灌水に移行する。
- ・中干し後、軽く足跡がつく程度に固まった圃場では間断灌水を行う。幼穂形成期から穂揃期は浅水管理する。
- ・5月以降に移植された圃場では穂肥の時期となるので、次ページの表に基づいて穂肥診断を行い穂肥を施用する。
- ・なお、特栽コシヒカリでナタネペレットを施用する場合は窒素肥効の発現に時間がかかるので幼穂長が1～2mm確認できた段階で穂肥診断を行い穂肥を施用する
- ・今年は葉色が濃い圃場が多いため、葉色が薄くならない圃場では穂肥の施用量を減らしたり、時期を遅らせるなど対応する。

《表1 コシヒカリ(一般栽培)の穂肥診断基準》

	葉色		施用時期		穂肥施用量
	群落	葉緑素計	出穂前	幼穂長	窒素成分 kg/10a
生育不足	2.5 以下	28>	25~23 日	1~2mm	2.0
標準	2.5-3.0	31	18~16	1.5~2.5cm	2.0
濃い	3.0-3.5	34	15	2.5cm	1.0
過剰	3.5 以上	35<		施用しない	

※第3葉身長(出穂前 22~18 日ごろの最上展開葉)が 42cm 以上、または第5節間長が 3cm 以上の場合、倒伏が懸念されるので穂肥は施用しない。

《表2 コシヒカリ(特別栽培)の穂肥診断基準》

	群落葉色	穂肥時期		穂肥施肥量
		出穂前	幼穂長	10a 当たり
なたねペレット	3.5 以下	25~23 日	1~2mm	20kg
	3.5 より濃い	—	—	施用しない

※施用資材・量等は、特栽の有無・地域により異なるので、地域の暦参照

②病害虫・雑草管理

- ・「ホタルイ、オモダカ、ノビエ類」の後発生が多い圃場では、中後期除草剤の対応に遅れないようにする。ただし、特裁圃場では農薬成分カウント数に注意する。
- ・「いもち病」の病斑が見られる場合は、地域の栽培暦に従って速やかに防除を行う。
特に上位葉に病斑がある場合は穂いもちが懸念されるので出穂前の防除を行う。
ただし、特裁圃場では、農薬成分カウント数に注意する。
- ・6/23 と 7/1 ごろを中心としてトビロウンカの飛来が確認された。発生予察情報を参考とし、ほ場の発生状況を確認して適期防除に努める。防除を行う場合には湛水をするとともに、株元まで薬剤が十分にかかるように散布する。
- ・6/24 を中心にコブノメイガの飛来が確認された。発生予察情報を参考とし、ほ場の発生状況を確認して適期防除に努める。

(2) 普通期水稲

①栽培管理

- ・6月上旬に移植された「夢しずく」は茎数の確保が進んで有効分けつ決定期から最高分けつ期となるので中干しを実施する。

有効茎数 20 本/株程度が確保された圃場では中干しに入る。(草丈目安概ね 50cm)

【中干しの目的】

- ① 無効茎の発生防止や下位節間の伸張防止
- ② 窒素制限による生育量の適正化
- ③ 有害物質の除去及び土壌酸化による根の健全化
- ④ 地耐力を高め倒伏を防ぐ

- ・6月中旬以降に移植された圃場では引き続き浅水管理を行い分けつ茎の発生促進と茎の充実を図る。

- ・スクミリンゴガイ対策のために落水している圃場では田面が露出してひび割れが生じている圃場もある。このような圃場では適宜通水を行い、茎が硬化すれば浅水管理に移行する。

②病害虫・雑草管理

- ・「ホタルイ、オモダカ、ノビエ類」の後発生が多い圃場では、中後期除草剤の対応に遅れないようにする。ただし、特裁申請している圃場では農薬成分カウント数に注意する。
- ・6/23 と 7/1 ごろを中心としてトビロウンカの飛来が確認された。発生予察情報を参考とし、ほ場の発生状況を確認して適期防除に努める。防除を行う場合には湛水をするとともに、株元まで薬剤が十分にかかるように散布する。
- ・6/24 を中心にコブノメイガの飛来が確認された。発生予察情報を参考とし、ほ場の発生状況を確認して適期防除に努める。

イネウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況 (佐賀県農業技術防除センター情報を改編)

表1 イネウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況(2024年)

月	日	トビロウンカ					セジロウンカ					コブノメイガ							
		佐賀県		長崎県			佐賀県		長崎県			佐賀県		白石町		武雄市		長崎県	
		佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	諫早市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	諫早市	佐賀市	佐賀市	神埼市	伊万里市	白石町	武雄市	諫早市	諫早市
ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップA	ネット トラップB	ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップA	ネット トラップB	フェロモン トラップA	フェロモン トラップB	粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	フェロモン トラップA	フェロモン トラップB		
6月	1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	11日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	15日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	19日	0	1	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20日	0	3	0	0	0	0	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	21日	0	8	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
	22日	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	23日	0	24	0	0	0	25	66	8	1	1	0	0	0	0	0	10	0	
	24日	0	14	0	0	0	13	92	5	0	2	0	0	0	0	0	18	0	
	25日	0	1	0	0	0	0	148	1	0	0	0	0	0	0	3	25	3	
	26日	0	9	0	0	0	0	187	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	
	27日	0	3	0	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	
	28日	0	7	0	0	0	0	30	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
	29日	0	4	0	0	0	3	31	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	30日	0	13	0	2	0	15	5	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	
7月	1日	0	229		0	0	14	88		1	0						2		
	2日	0	41				0	97											
	3日	1					1												

注1)ウンカ類:佐賀市のネットトラップは、農業試験研究センターで調査(回収日で集計)。嬉野ライトトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。
 注2)コブノメイガ:神埼市、白石町、伊万里市、武雄市は防除員が調査。佐賀市のフェロモントラップは農業試験研究センターで調査。
 ※長崎県のデータは、長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室提供。

トビイロウンカ発生予測（佐賀県農業技術防除センター情報を改編）

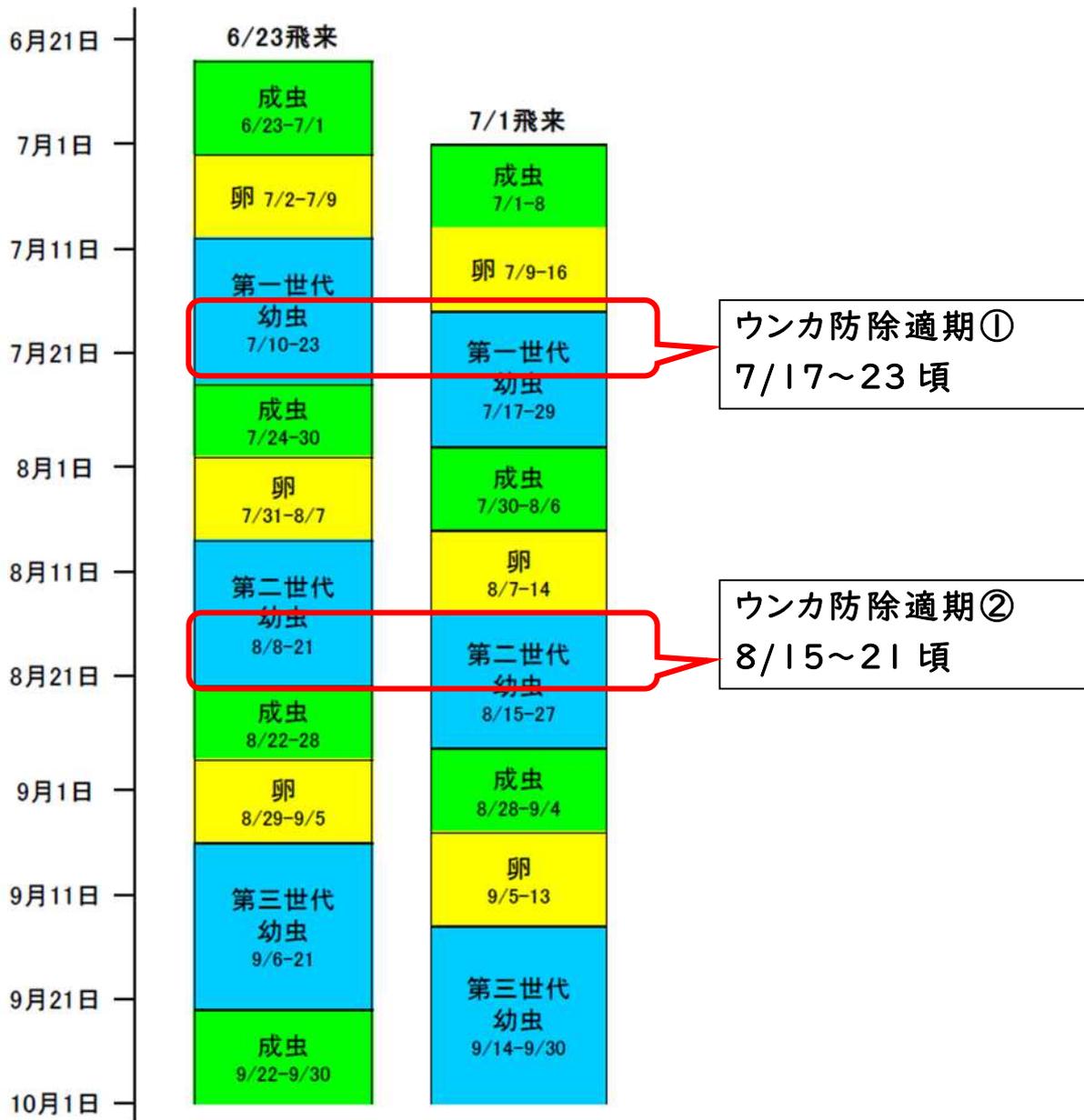


図1 トビイロウンカ各世代の発生予測（第1版、2024年7月4日作成）

1. 6月23日～24日頃(図では6月23日)、7月1日～2日(図では7月1日)の飛来虫を起点とし、トビイロウンカの有効積算温度及び佐賀市川副町のアメダスデータ（7月4日以降は平年値）に基づき作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

コブノメイガ発生予測（佐賀県農業技術防除センター情報を改編）

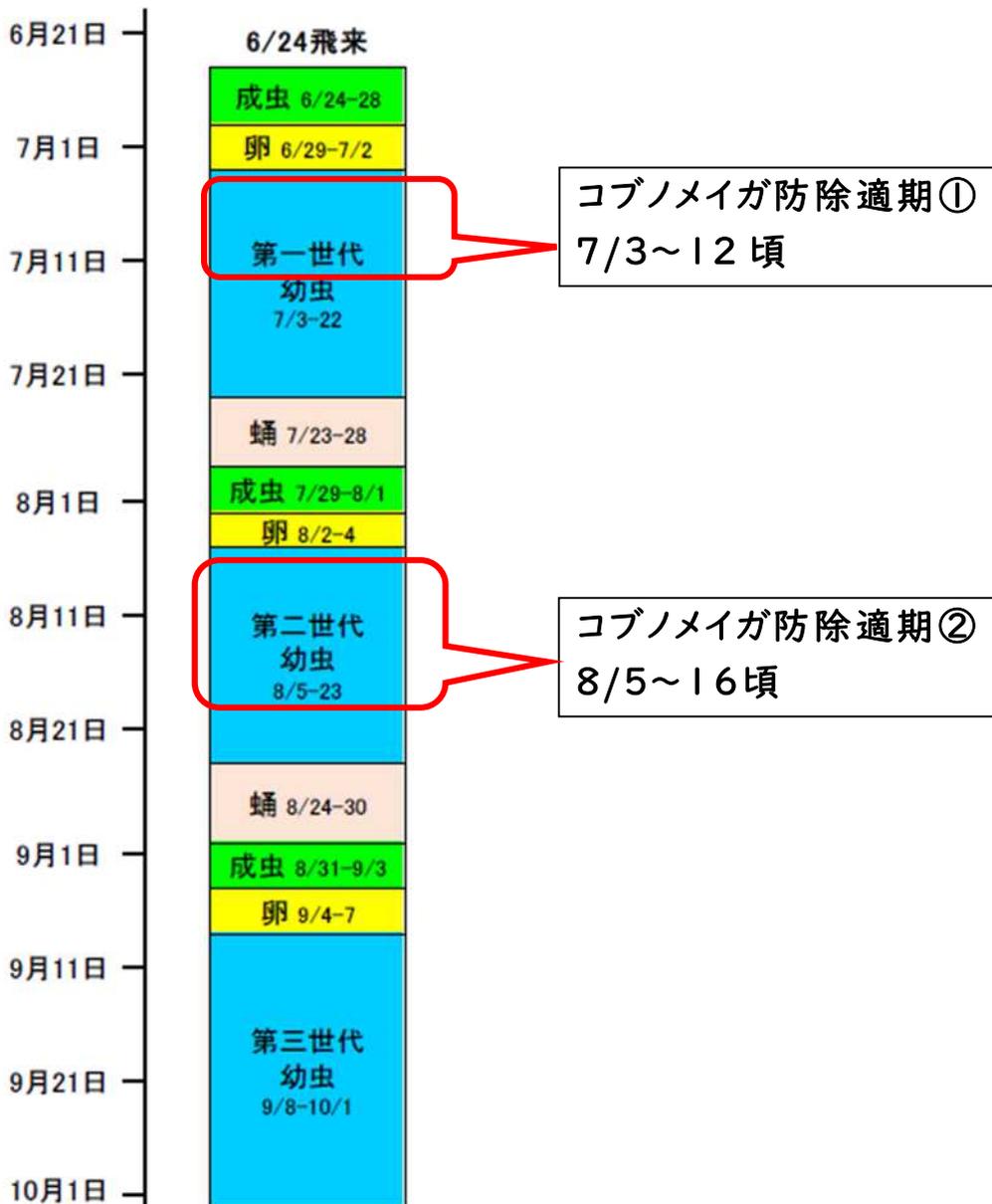


図2 コブノメイガ各世代の発生予測（第1版、2024年7月4日作成）

1. 6月24日～27日頃（図では6月24日）の飛来虫を起点とし、コブノメイガの有効積算温度及び佐賀市川副町のアメダスデータ（7月4日以降は平年値）に基づき作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

令和6年産 稲作期間気象図 アメダス観測値 (唐津)

東松浦農業振興センター

